

消化器内科に膵がんにて過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に関する情報公開文書）

北海道がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録や保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和4年3月10日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道がんセンター倫理審査委員会で承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

[研究課題名] 他臓器癌とくに前立腺がん、乳がんスクリーニング検査から膵癌早期発見された症例の観察研究

[研究機関名・長の氏名] 永島裕之

北海道がんセンター 院長 加藤 秀則

[研究代表者名・所属] 消化器内科

北海道がんセンター 科 役職名 医長 名前 永島裕之

[研究の目的]

膵癌は、予後の悪い疾患の一つであり、かつ早期発見が難しいことが知られている。糖尿病、慢性膵炎、喫煙などが代表的なリスクファクターとして知られているが、未だ十分なスクリーニング方法は定まっていません。我々の先行研究で乳がん、前立腺がん、悪性リンパ腫などの疾患からの膵癌発症は、他の臓器のがんよりも多く存在しました。

当院では他臓器がんのスクリーニング検査で偶然発見される症例が多く存在しており、それらの発見契機、既往歴から膵癌を早期に発見された症例の特徴を調べることは、膵癌の早期発見につながる重要なリスクファクターであることが予想される。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2018年4月1日から2023年12月31日の間に当院で膵癌と診断されて同意された方。

○利用する検体・カルテ情報

検体：膵癌切除および生検検体

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織診断、他）後治療、予後、再発状況など

本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

発見の際に行われていた画像検査、検査の時期などの情報を解析します。

○具体的な研究内容

当院では放射線診断科の読影レポートから他臓器の癌で偶然膵癌が発見される症例が多く存在し、早期に膵癌を発見しやすい特徴を有した施設の一つです。また遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)に対する遺伝子外来も行っており、早期診断をするための条件が揃っています。

当院で膵癌と診断された症例の中で、早期に膵癌が発見された症例を対象として、早期に発見された膵癌が、既往歴、家族歴、画像検査時期など、どのような特徴を有していたかを解析します。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

2018年3月（倫理審査委員会による実施許可日）～2026年3月31日

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は2024年9月1日までに以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道がんセンター 消化器内科

担当医師：永島裕之

住所：〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号

電話：011-811-9111

FAX：011-832-0652